

風水害から身を守る

●風水害避難時の心得

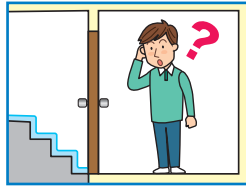
大雨・集中豪雨

局地的な大雨や集中豪雨は、川や下水道が短時間で増水し浸水や洪水を引き起こします。大雨や集中豪雨は、急激に状況が変化するので注意が必要です。

地下空間(地下街やビルの地下室など)に注意



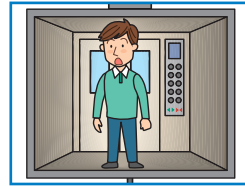
浸水すると一気に水が流れ込みます。



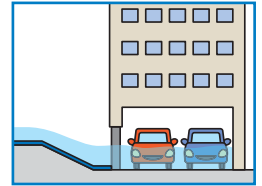
地下空間では、外の様子がわかりません。



水圧でドアは開きません。



浸水すると電灯が消え、エレベータは止まります。



地下駐車場は浸水するおそれがあります。

マンホールや側溝に注意

急激な雨水の流入により、蓋が外れたマンホールへの転落や、側溝や用水路に落ちて溺死する事故もあります。



車の運転に注意

普通自動車なら、約30cmの浸水で走行が困難になります。アンダーパスは真っ先に浸水します。運転には注意が必要です。



河川に注意しましょう



山間部で雨が降ると川が一気に増水し、鉄砲水になることがあります。急な増水により中州に取り残される、川に流されるなどの危険があります。「雨が降ったらすぐ川から離れる」が鉄則です。河川では、雨が降り出したらすぐ避難しましょう。

雷

雷は場所を選ばず落ちます。
落雷による感電死や停電、建物や樹木の損壊、火災など様々な被害をもたらします。



落雷が聞こえたら

- 建物の中に避難する。
- 木のそばから離れる。
- 逃げる場所がないときは低い姿勢になる。
- 釣り竿など長い物は手から離す。

竜巻

季節に関係なく台風、寒冷前線、低気圧にともない突発的に発生します。
進路に当たる物体を巻き上げながら移動し、短時間で大きな被害をもたらします。



竜巻が追ってきたら

- 頑丈な建物に避難する。
- 建物の最下階・地下に避難する。
- 窓のない場所に避難する。
- 建物の物陰で身をかがめる。
- 水路やくぼみに身をふせる。

危険です

- 車庫やプレハブの中
- 電柱や樹木のそば
- 飛来物で割れる窓ガラスのそば

浸水時の避難はとても危険！

浸水前に早めの避難



浸水想定区域などの危険区域にいるときは早めに避難する。

浸水時の避難は危険



浸水箇所には、水の流れるがはやい所があり危険です。

浸水したら垂直避難

避難が遅れた場合は、自宅の2階や近所の高い建物へ避難し救助を待ちましょう。



避難する時は用水路や側溝、マンホールに注意！
避難の時、川の近くを歩かない。



車での避難は控えて！

